

怖いタバコ、禁煙の勧め

あけぼの小児クリニック

院長 石本浩一先生寄稿

「わが禁煙の動機」

たばこを吸っているお父さんやお祖父ちゃん、勿論お母さんにもご本人の健康のためだけでなく、子供さんやお孫さんのためのお話です。

かく言う私も長い間、喫煙者でしたが、ある日を境にびつたりとやめました。それはこんな経験からです。私はガンの子供の診療に長い間関わって来ました。今や小児ガンの七十パーセントは直る病気ですが、とある日、私が順天堂大学で続けているフオロアアップ外来に二十歳の元白血病患者の二人の青年が受診しました。二人ともたばこの臭いがするため聞くと、毎日二十本も吸っているとの事、せつかく苦労してガンを克服した人たちがヘビースモーカーになっっている、この現実を知って私は愕然とせざるを得ませんでした。何とかこの人たちに禁煙をしてもらわなければと思い、その日から私は全くとばこを吸

うことが出来なくなつたので

「副流煙の子供への危険」

たばこの害は耳にたこができるほど聞かされていますが、もう一度おさらいをしてみましよう。たばこの煙は喫煙者が吸い込む主流煙とたばこから立ち上がる副流煙があります。有害物質の殆どはこの副流煙です。自分の意志と関係なくたばこの煙を吸い込むことを受動喫煙と言います。

問題は、特に成長過程にある子供が家族の吸うたばこの副流煙により様々な健康被害を受け易いことです。喘息、気管支炎、中耳炎にかかりやすくなり、赤ちゃんの突然死（乳児突然死症候群）の約六十パーセントは親の喫煙が原因とされています。

また妊婦の喫煙は胎児も大きな影響を受けます。発育が悪くなるだけでなく、将来落ち着きのない子供や、キレ易い子供になりやすい事も明らかになってきました。

ヒメイワダレソウの植栽



福船でのヒメイワダレソウ植栽作業(5/23)

福船環境保全協議会では、カバープランツ植物「ヒメイワダレソウ」（先日高知新聞にも紹介されました）の植栽に取り組んでいます。

いまさら言うまでもなく、法面等の雑草対策には大変な苦勞があり、地域協同作業の大半を費やす重大問題です。

ヒメイワダレ草（ヒメイワダレソウ）は、亜熱帯地方原産の多年草で、非常に繁殖力が強く他の雑草抑制力に大変優れています。草丈が5cm〜7cmと短いため草刈の必要がありません。

せん。傾斜角のきつい法面でも植栽が可能であり、しかも根が40cm〜60cm伸びるため法面をしつかり保護し崩れにくくします。6月から9月にかけて小さな花が咲き、景観形成にも役立ちます。（色は白とピンクがあるが、白が主流）

岩村地区で植栽を希望する方には、ポット苗を無料でお分けします。（福船環境保全協議会書記 大畠国晴）まで



植栽後50日経過した状態(7/12日撮影)